

「コロナ禍3年目のバックオフィスDX調査(2022年3月実施)」

株式会社LegalForce



LegalForce

調査概要

目的	コロナ禍3年目のバックオフィスDXの実態調査
企画	株式会社LegalForce
実施	株式会社クロス・マーケティング
期間	2022年3月10日～14日
対象	会社員、会社役員いずれかに該当する1,000名
調査方法	インターネット調査

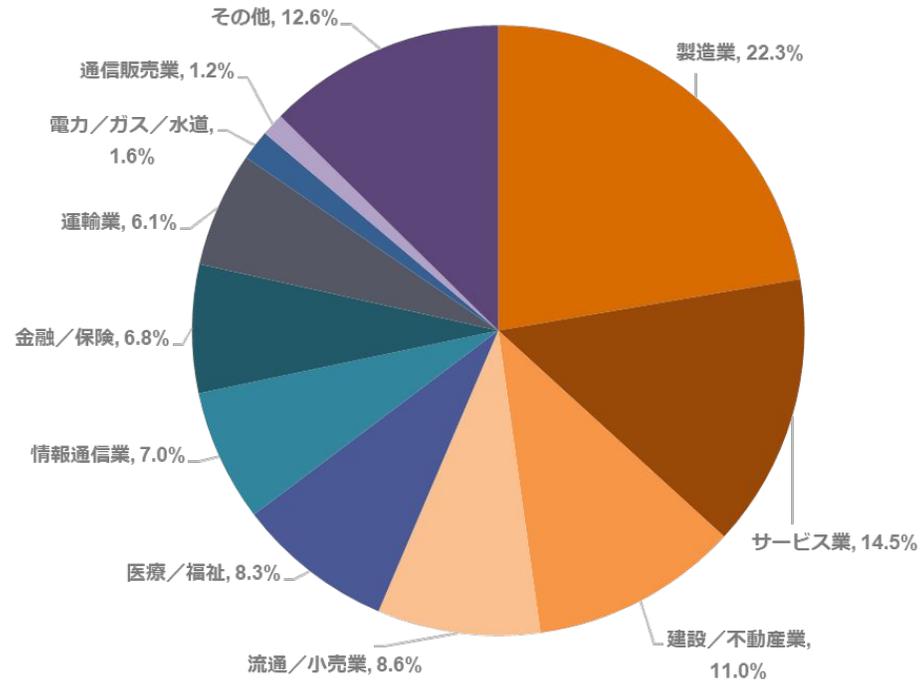
調査結果サマリ

1. 76.4%が、「2020年2月の新型コロナウイルス感染拡大以降、バックオフィスのDXが進んでいない」と回答
2. バックオフィスのDXが進んだ分野、6割以上が「人事、労務」「経理、財務」と回答。法務分野は23.7%に留まる
3. バックオフィスのDXが進んだことについて、71.6%が「メリットを感じる」と回答
4. バックオフィスのDXが進んだことに対する具体的なメリットは、「出社が減った」「生産性が向上した」
5. 会社にバックオフィスのDXを「取り組んでほしいと思う」との回答は19.8%に留まる
6. 会社にバックオフィスのDXを「取り組んでほしくない理由」は、「これまでのやり方を変えるのが面倒だから」が39.8%で最多
7. 約7割が、「リモートワークをするためにはDXが必要」と回答

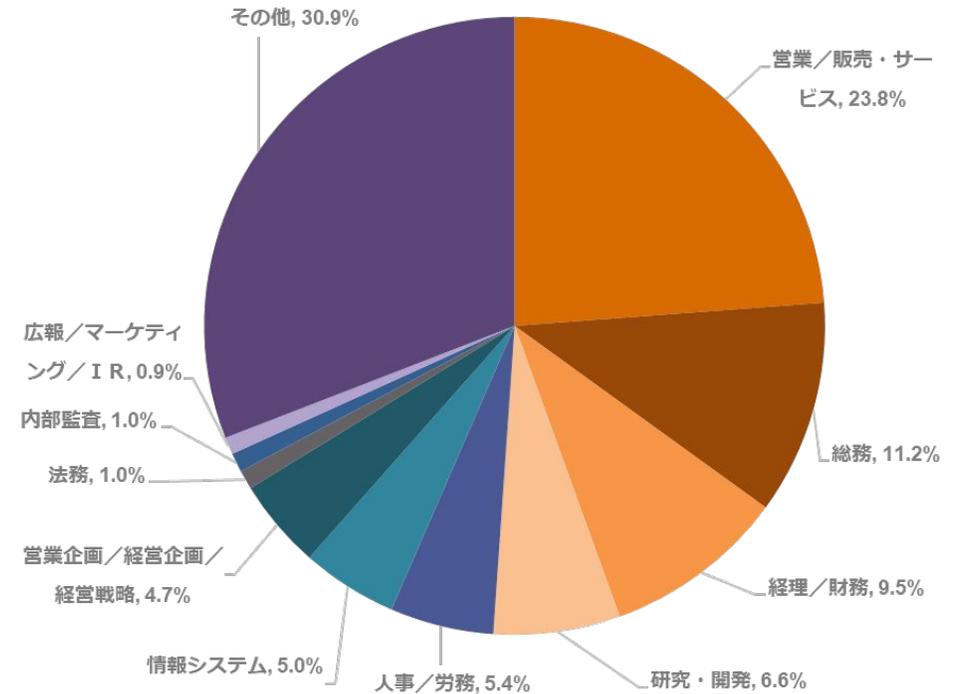
プロフィール

会社員、会社役員いずれかに該当する 1,000名

● 業種



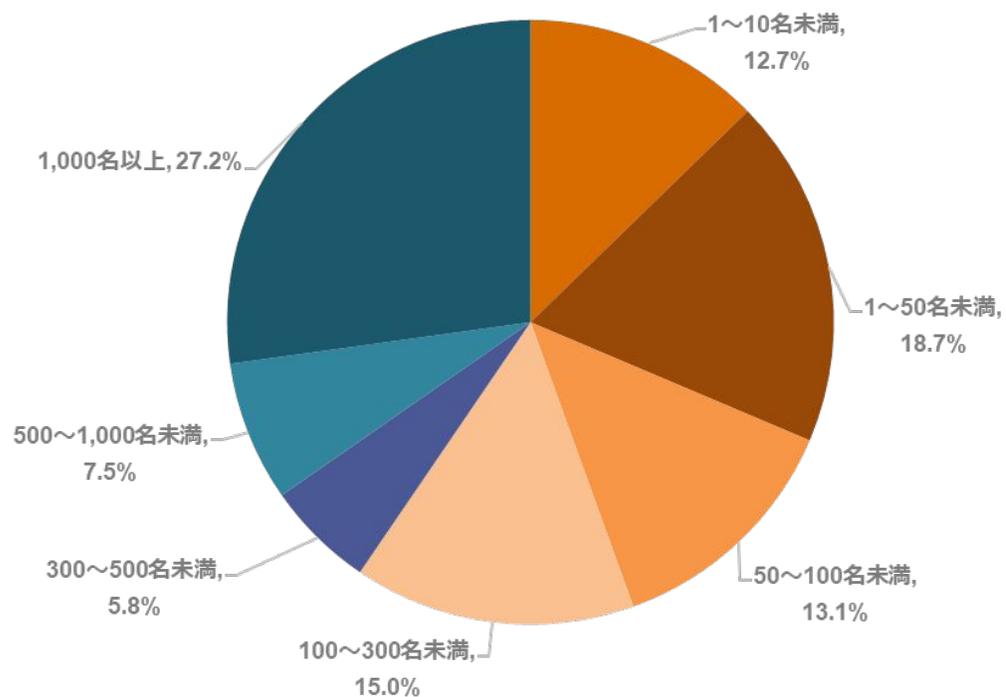
● 職種



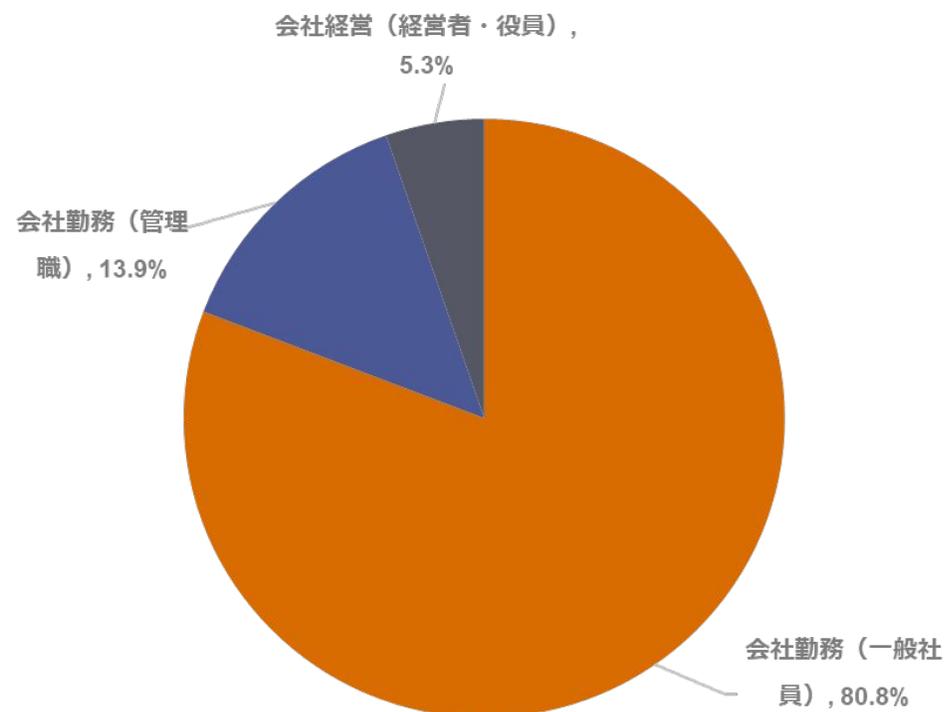
プロフィール

会社員、会社役員いずれかに該当する 1,000名

● 企業規模



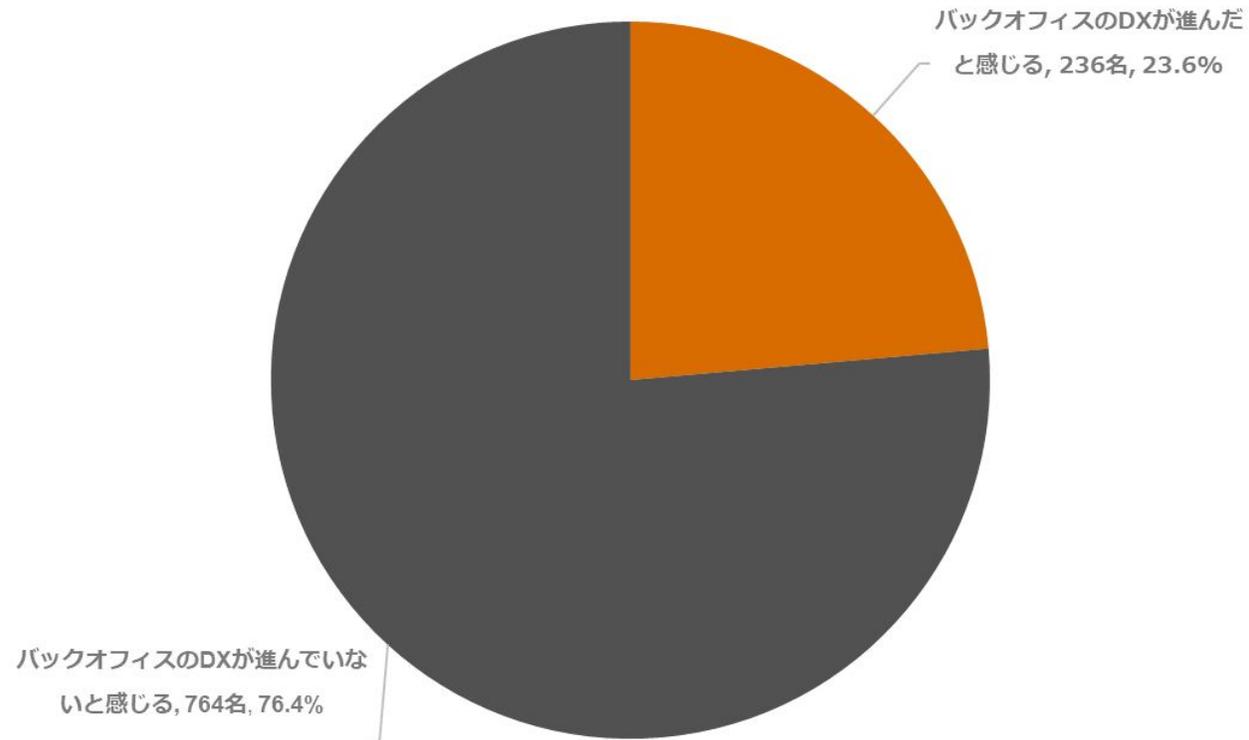
● 職位



あなたの会社は新型コロナウイルスの感染が拡大した2020年2月以降、バックオフィスのDXが進んだと感じますか？

会社員、会社役員いずれかに該当する 1,000名

- 2020年2月の新型コロナウイルス感染拡大以降、バックオフィスのDXが進んでいないと感じるとの回答は 764名で76.4%

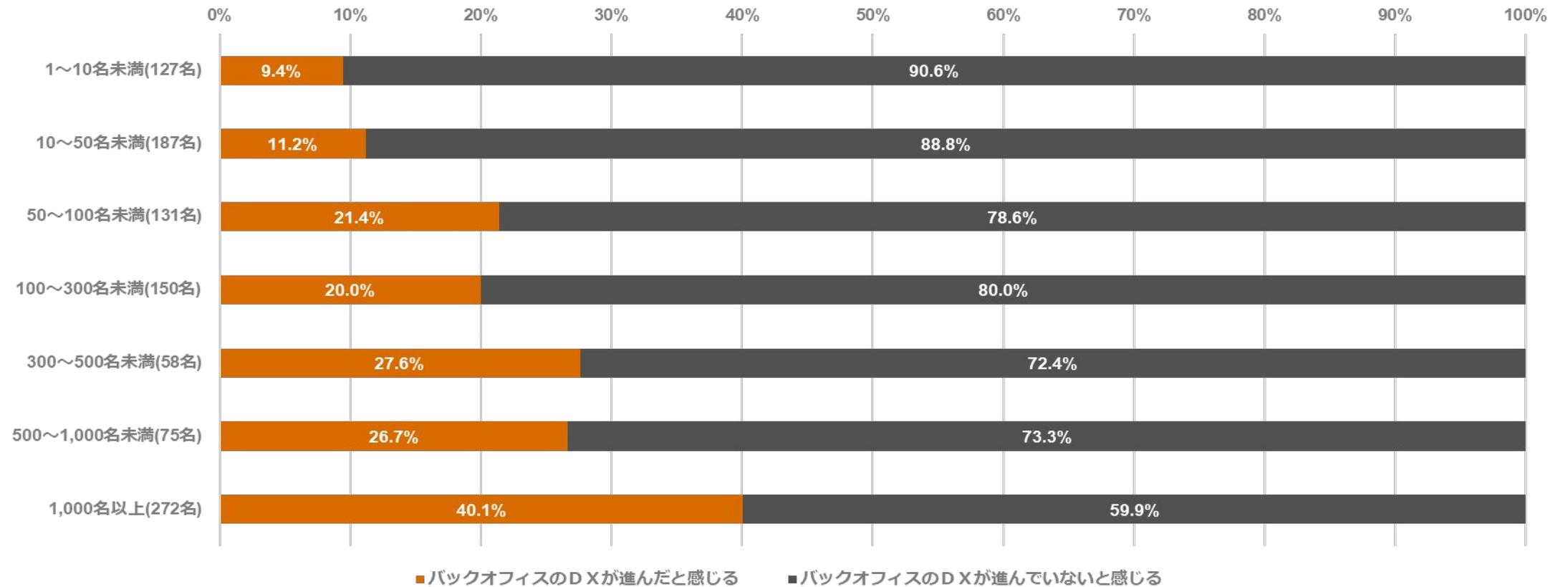


※実際の質問では、経理・財務・人事・労務・総務・法務をバックオフィス、ITの活用・導入により、これまでアナログだった業務が効率化され業務フローや働き方（書類の提出のためにオフィスに出勤する必要がなくなったなど）の変化をDX、と定義を説明。

あなたの会社は新型コロナウイルスの感染が拡大した2020年2月以降、バックオフィスのDXが進んだと感じますか？（企業規模別）

会社員、会社役員いずれかに該当する 1,000名

- 76.4%が、「2020年2月の新型コロナウイルス感染拡大以降、バックオフィスのDXが進んでいない」と回答
- 企業規模が大きくなるにつれ、新型コロナウイルス感染拡大以降にバックオフィスのDXが進んだと感じる割合が増加

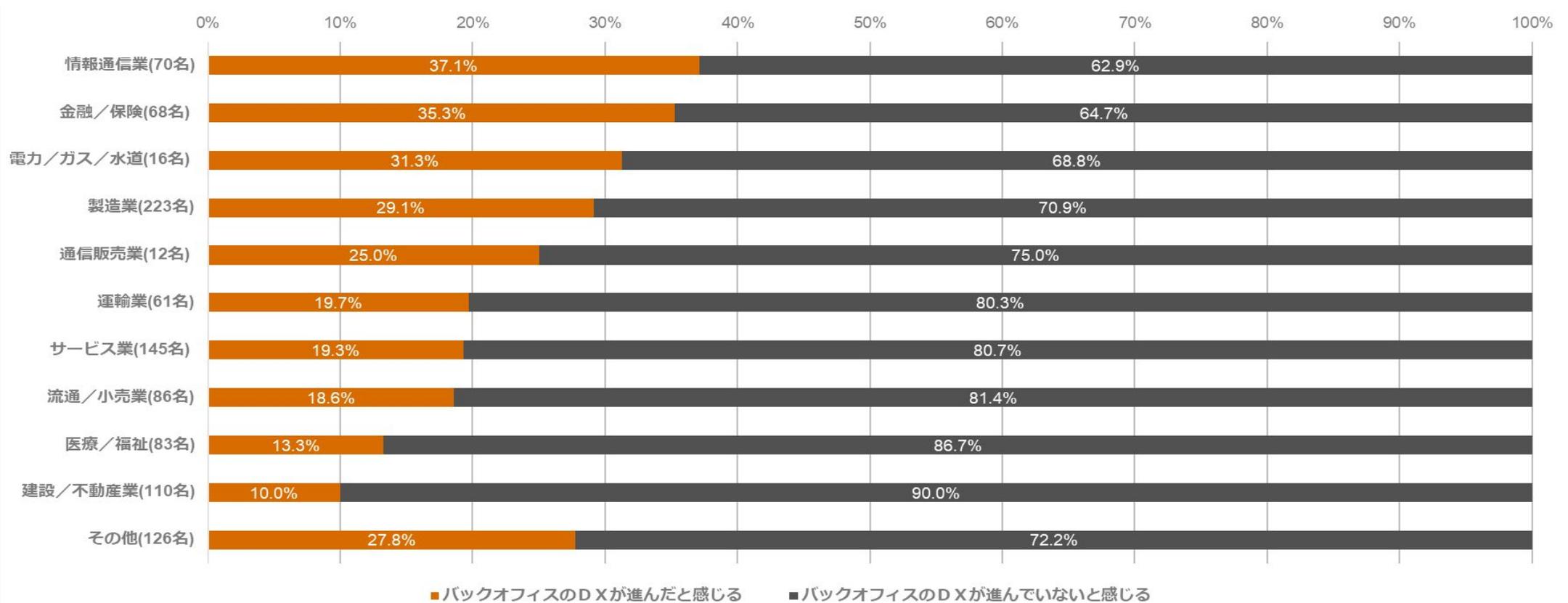


※実際の質問では、経理・財務・人事・労務・総務・法務をバックオフィス、ITの活用・導入により、これまでアナログだった業務が効率化され業務フローや働き方（書類の提出のためにオフィスに出勤する必要がなくなったなど）の変化をDX、と定義を説明。

あなたの会社は新型コロナウイルスの感染が拡大した2020年2月以降、バックオフィスのDXが進んだと感じますか？(業種別)

会社員、会社役員いずれかに該当する1,000名

- 新型コロナウイルス感染拡大以降、バックオフィスのDXが進んだと感じる割合が多い業種トップ3は「情報通信業」(37.1%)、「金融／保険」(35.3%)、「電気／ガス／水道」(31.3%)

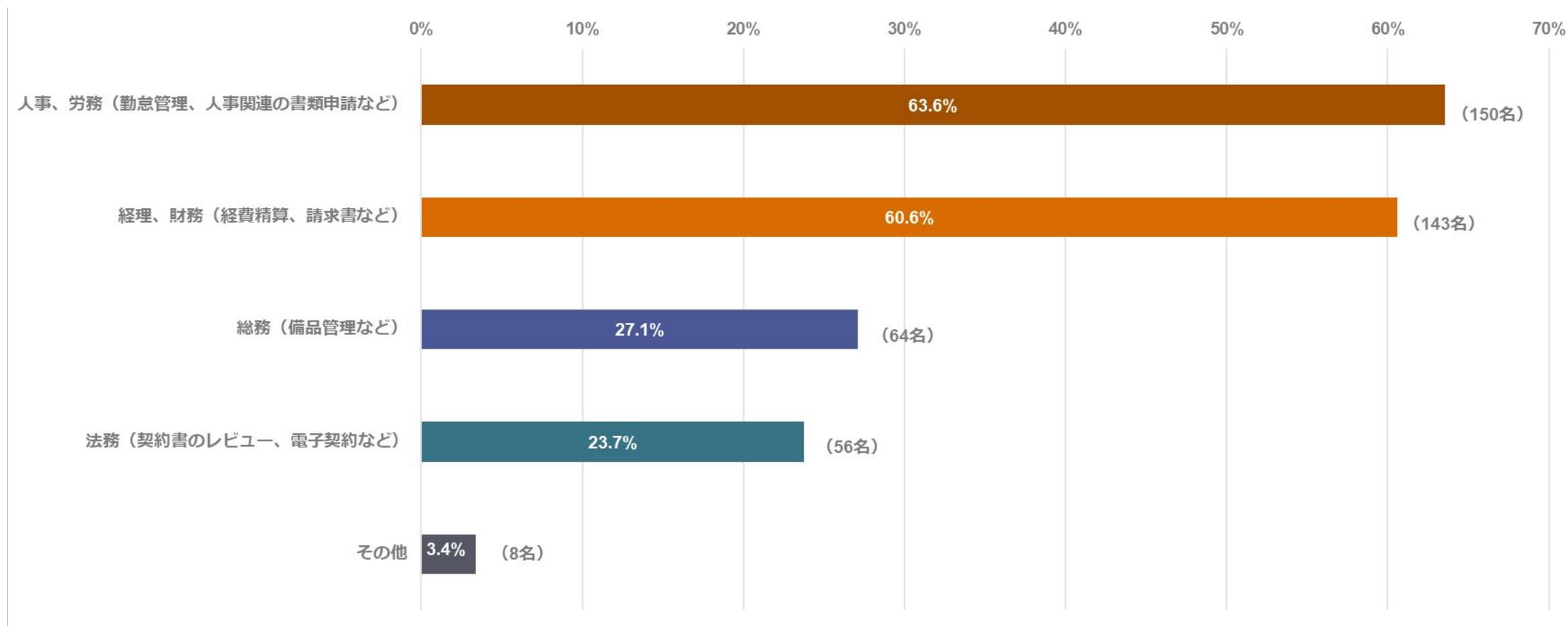


※実際の質問では、経理・財務・人事・労務・総務・法務をバックオフィス、ITの活用・導入により、これまでアナログだった業務が効率化され業務フローや働き方(書類の提出のためにオフィスに出勤する必要がなくなったなど)の変化をDX、と定義を説明。

どの分野でバックオフィスのDXが進んだと感じますか？※複数回答可

新型コロナウイルス感染拡大以降、バックオフィスのDXが進んだと回答した236名

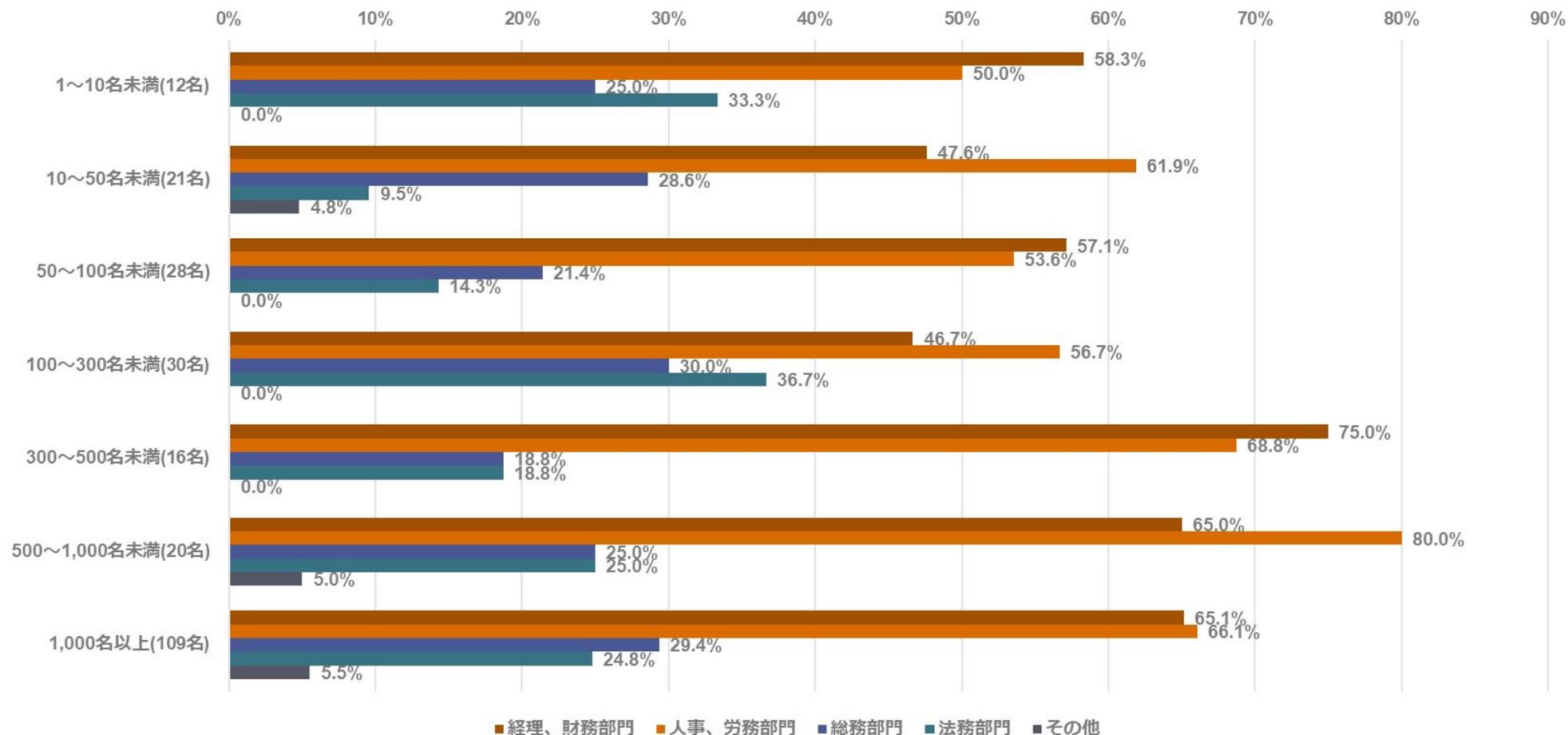
- 新型コロナウイルス感染拡大以降、バックオフィスのDXが進んだと感じる分野は63.6%が「人事、労務」、60.6%が「経理・財務」と回答。法務分野は23.7%に留まる



どの職種でバックオフィスのDXが進んだと感じますか？※複数回答可(企業規模別)

新型コロナウイルス感染拡大以降、バックオフィスのDXが進んだと回答した236名

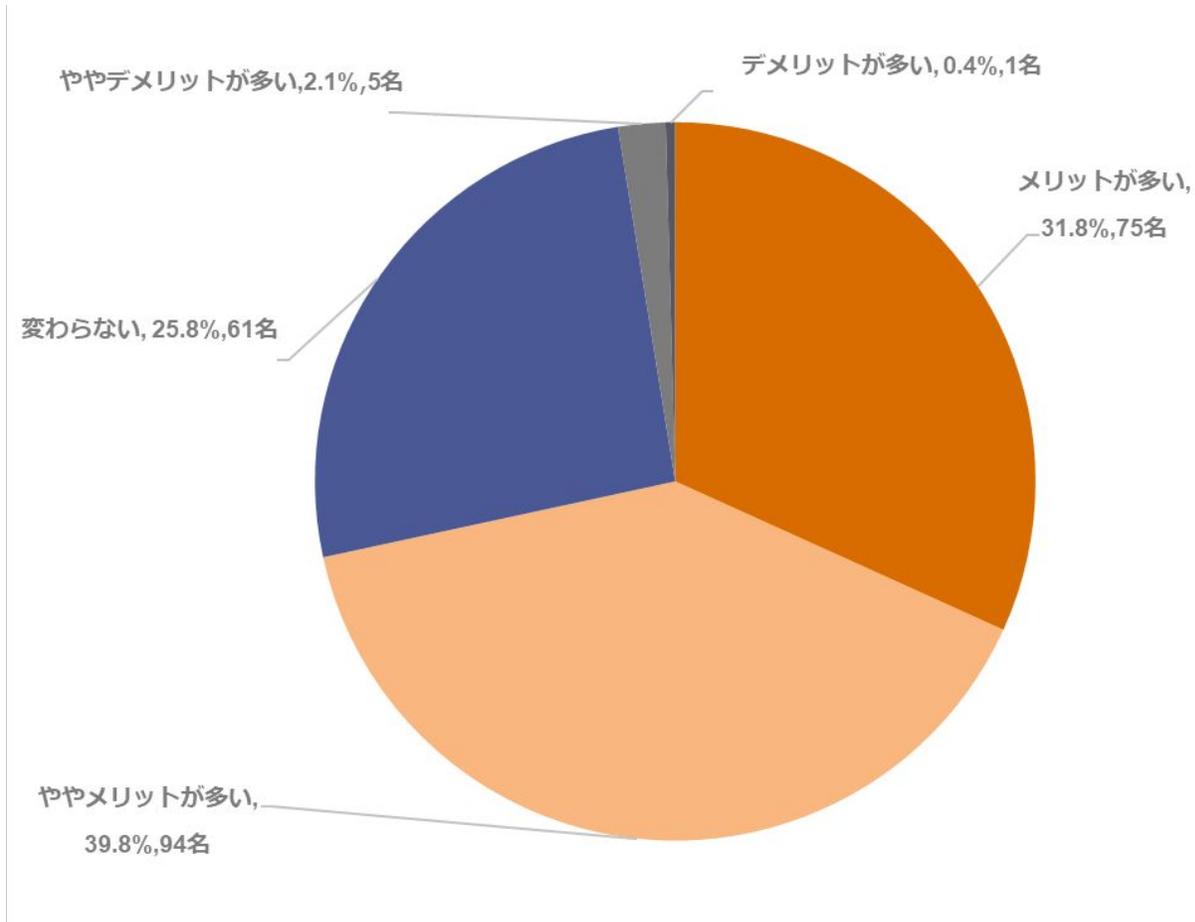
- 新型コロナウイルス感染拡大以降、バックオフィスのDXが進んだと感じているのは500～1,000名未満の企業における人事、労務部門で80%と最も高く、次いで300～500名未満の企業における経理、財務部門が75.0%



バックオフィスのDXが進んだことは、メリット・デメリットどちらが多いですか？

新型コロナウイルス感染拡大以降、バックオフィスのDXが進んだと回答した236名

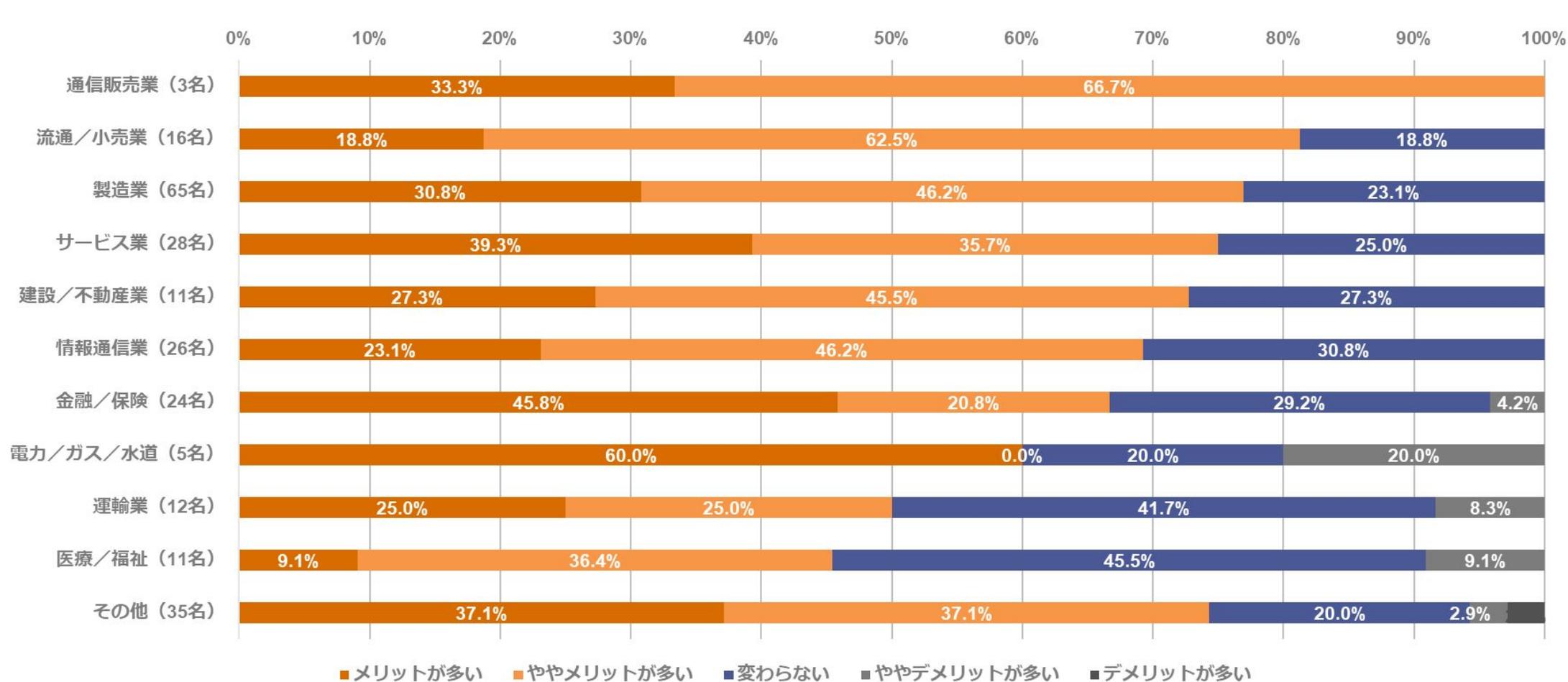
- バックオフィスのDXが進んだことについて、約7割が「メリットが多い」(メリットが多い、ややメリットが多い)と回答



バックオフィスのDXが進んだことは、メリット・デメリットどちらが多いですか？（業種別）

新型コロナウイルス感染拡大以降、バックオフィスのDXが進んだと回答した236名

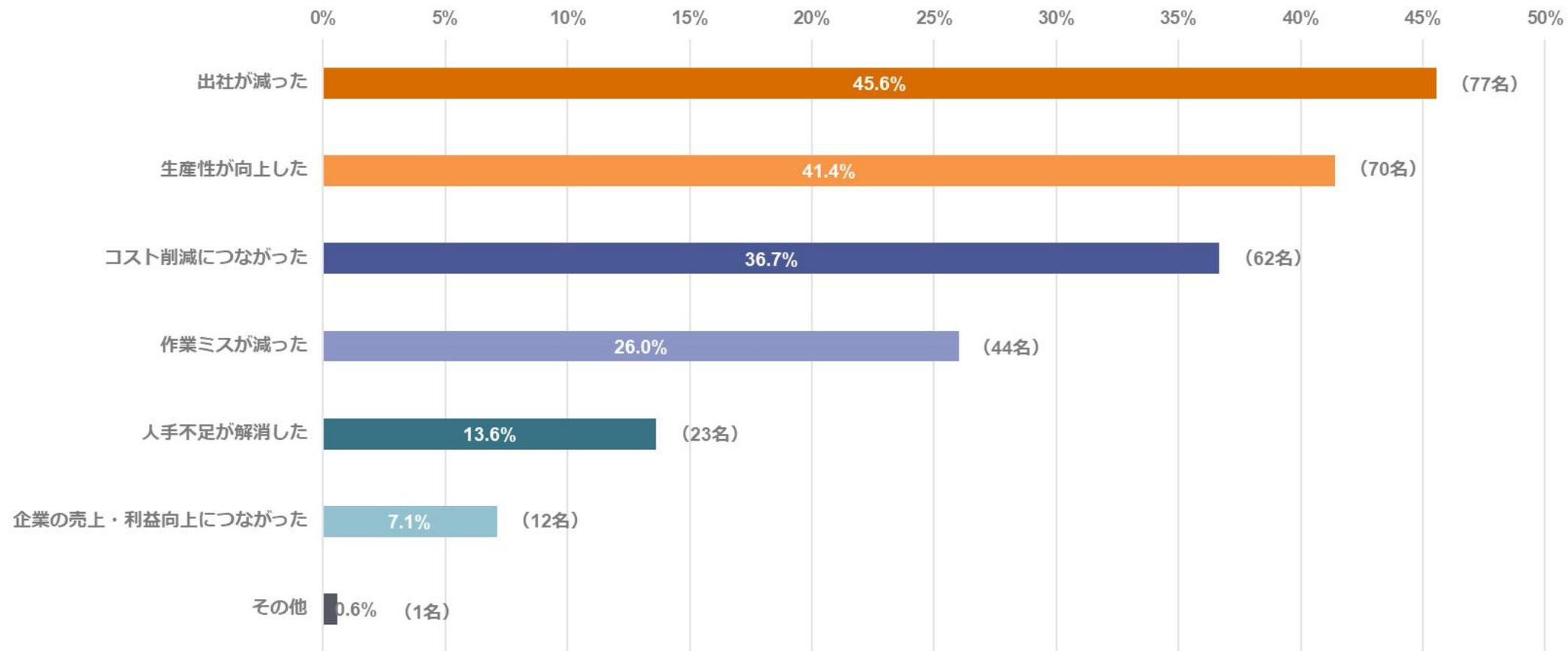
- バックオフィスのDXが進んだことについて「メリットが多い」（メリットが多い＋ややメリットが多い）と回答した業種として上位3つに挙げられたのは、「通信販売業」（100%）、「流通／小売業」（81.3%）、「製造業」（78%）



バックオフィスのDXが進んだことによる具体的なメリットを教えてください。※複数回答可

バックオフィスのDXが進んだことについて「メリットが多い」「ややメリットが多い」と回答した 169名

- バックオフィスのDXが進んだことによる具体的なメリットについて、「出社が減った」と回答した割合が 45.6%と最も多く、次いで「生産性が向上した」と回答した割合が 41.4%



バックオフィスのDXが進んだことでメリットを感じた具体的なエピソード

※任意回答、自由記述、一部抜粋

- ・対面でなくてもリモートで済むプロセスが増え、上司に直接会うために調整する必要がなくなり、業務がスピーディーになった。(営業／販売・サービス、20代)
- ・紙の書類が減り、テレワークを積極的にできるようになった。(営業／販売・サービス、30代)
- ・以前は紙で出力したものを目視でチェックしながら作業していたが、電子化したことにより作業量が減少した。(研究・開発、50代)
- ・リモートワーク下での生産性向上に寄与した。(営業企画／経営企画／経営戦略、50代)
- ・契約書の保管場所をファイルにした事で省力化につながった。(医療系、60代)

バックオフィスのDXが進まないことで困ったエピソード

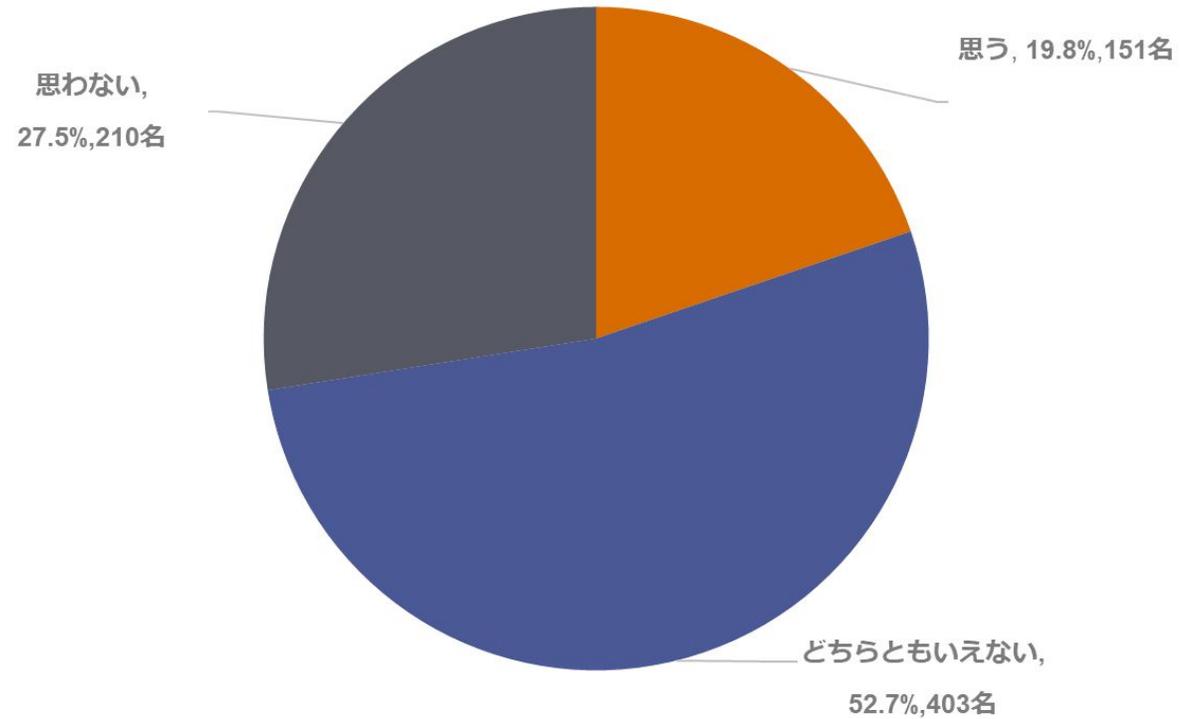
※任意回答、自由記述、一部抜粋

- ・コロナ禍でも頻繁に出社しなければならなかった。(営業／販売・サービス、20代)
- ・紙が多すぎて、行方不明になることが多々ある。(総務、30代)
- ・紙の書類が多く保存する際に異なるファイルに閉じられていることもある。探すのが大変な時がある。
(営業／販売・サービス、30代)
- ・新型コロナウイルスの影響で人が削減されたが、残る人への負担は増えている。(経理／財務、40代)
- ・紙を用いた作業量が多く、常に人材不足。(営業企画／経営企画／経営戦略、50代)

勤務先にバックオフィスのDXに取り組んでほしいと思いますか？

バックオフィスのDXが進んでいないと回答した764名

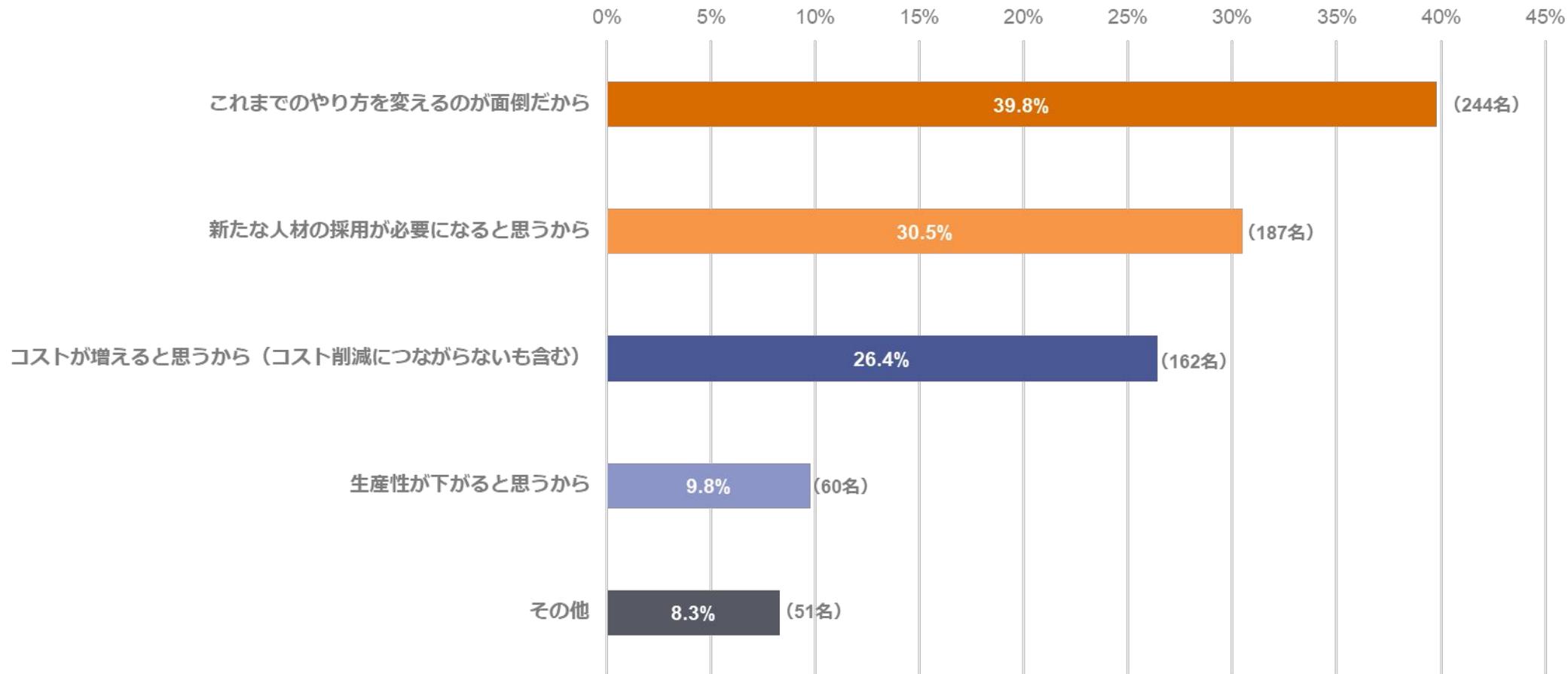
- バックオフィスのDXに取り組んでほしいか伺ったところ、「取り組んでほしいと思う」と回答した方は19.8%に留まる。半数以上が「どちらともいえない」と回答



バックオフィスのDXに取り組んでほしくない理由について教えてください。※複数回答可

バックオフィスのDXに取り組んでほしいと思わない、どちらともいえないと回答した 613名

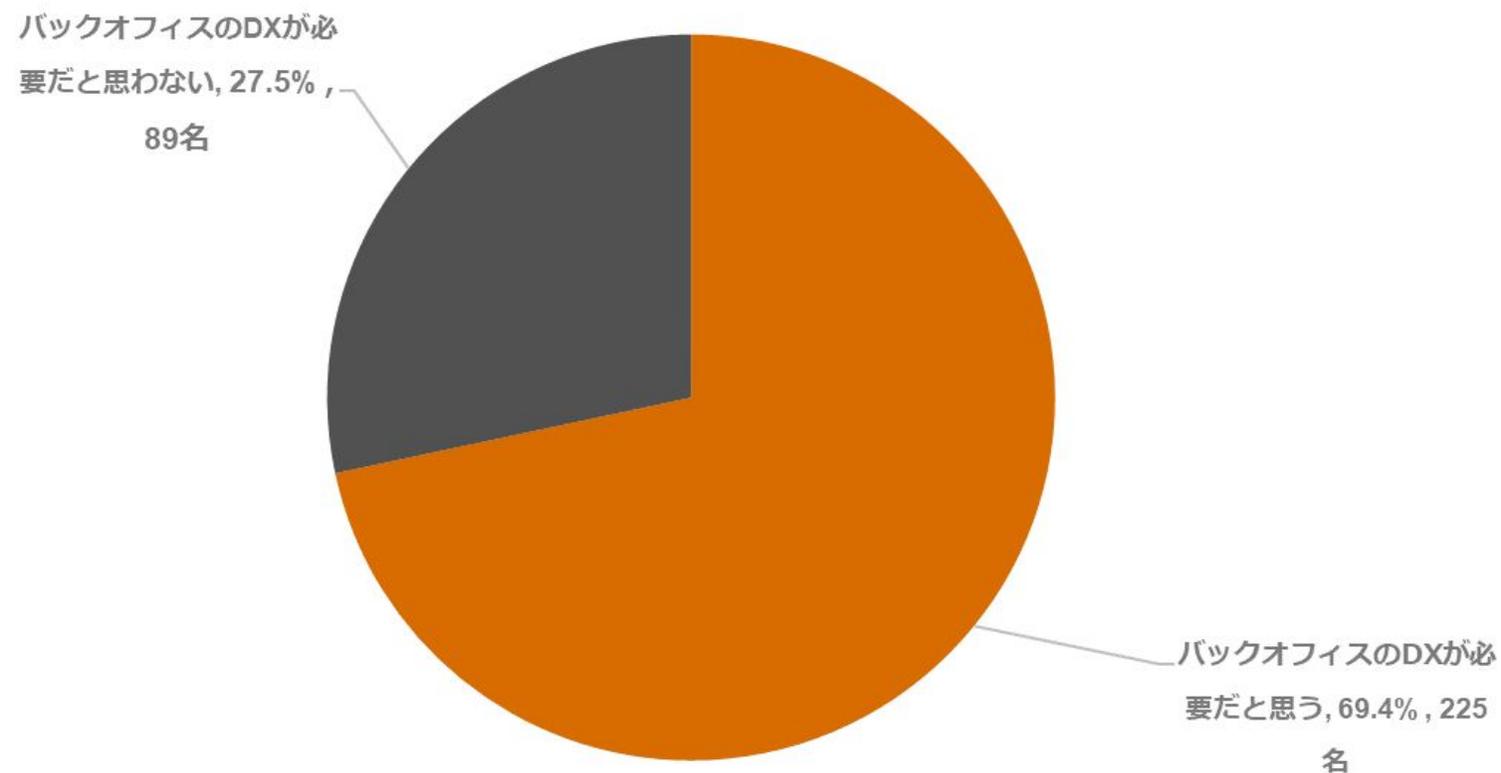
- 勤務先にバックオフィスのDXに取り組んでほしいと思わない理由は、「これまでのやり方を変えるのが面倒だから」が 39.8%で最多。変化に対する抵抗感がバックオフィスDXの障壁になっていると考えられる



リモートワークの実現には、バックオフィスのDXが必要だと思いますか？

今後、希望する働き方として「リモートワーク」「リモートワークが出勤よりも多いハイブリッド勤務」と回答した 324名

- リモートワーク中心の働き方を希望する方の 69.7%が「バックオフィスのDXが必要だと思う」と回答



お問い合わせ

本調査結果の内容や弊社が提供する製品についてのお問合せは、以下よりお願い致します。

Tel: 03-4405-5297

Mail: pr@legalforce.co.jp